

# アクアポリン3遺伝子の 発現量評価

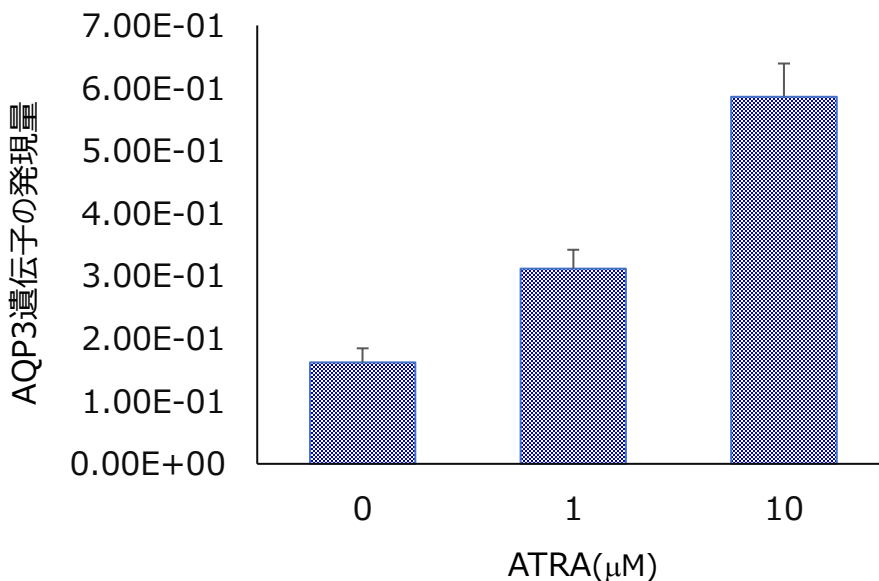


SUSCARE

## 1. 測定条件

ヒト正常角化細胞を増殖培地中で3日間培養後、所定の濃度のall-trans レチノイン酸(ATRA)を添加して3時間培養した。培養後、RNAを単離し、逆転写反応によりcDNAを合成した。特異的なプライマープロブセットを用いたリアルタイムPCR法によりAQP3の発現量を測定した。

## 2. 測定結果



## 3. 測定結果から得られる情報

アクアポリンは水の通り道を形成することで、表皮組織に水分を行き渡らせ、肌の保湿機能を維持しています。アクアポリンは加齢に伴いその発現量は減少しますが、その発現量を増加させることにより、保湿機能の改善が期待されます。

## 4. 試験料

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。  
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。